

裁判員等経験者の意見交換会を開催しました

釧路地方裁判所では、令和5年3月23日（木）、裁判員等経験者3人にお越しいただき、裁判官、検察官、弁護士を交えて意見交換会を開催しました。



いただいたご意見やご感想の一部をご紹介します。

裁判に参加された感想や印象について

- 罪を犯した人にもいろいろな事情や感情があったのだろうということを考えると、同じ人間ですから、どのような量刑にすれば良いのかは最後の最後まで悩みました。
- 裁判員として審理や判決に関与して、自分の中で考えさせられることがたくさんありました。検察官や弁護人の話を自分なりに整理しながら一生懸命考えた数日間は、とても濃密なものでした。
- 一つのことについて裁判官と裁判員が真剣に話し合いをして、自分でも一生懸命考えて、非常に濃い時間を過ごしたと思います。いろいろな立場に立って、真剣に話し合いをして裁判を行っていることがよく分かりました。

検察官や弁護人の主張全般や証拠調べについて

- 証拠の内容について、説明を耳で聞くだけではなく、写真や映像も見たので、分かりやすかったです。
- 裁判員として選ばれる方の中には、説明が長くなると理解しにくいという方もいらっしゃると思うので、少しゆっくり話していただいたり、証拠のボリュームをできるだけ少なくするという配慮があると良いかもしれません。
- 検察官も弁護人も、丁寧な準備をして裁判を適切に進めようとしていることが伝わってきました。初めて参加した私にも、流れや説明は分かりやすかったと思います。

評議について

- 裁判官が、話しやすい雰囲気を作って裁判員の意見をうまく引き出してくださいました。裁判官がホワイトボードに書いたメモを見ながらもう一度みんなで考えたり、ポイントを整理していくうちに、どんどん議論が盛り上がってきて、より良い結論を出すための話し合いの場だと感じることができました。

裁判員を経験してから

- 以前よりも、裁判に関する報道に敏感になった気がします。この事件にはどういう背景があったんだろうと関心を持つようになりました。
- 職場に戻ってから、「とても貴重な経験をしたので、もし裁判所から通知が来たら参加しなさい」と部下や後輩に伝えました。
- 守秘義務のこともあり、どこまで話して良いか迷ってしまいましたが、裁判員としての経験や、日本の裁判がこんなにきちんに行われているのだということを周囲に伝えたいと思っています。

これから裁判員になられる方・特に若い方へのメッセージをお願いします

- 若い方が、これからの時代に合った考え方で議論に参加していくことは大事だと思います。
- 裁判員として議論をしていく責任を重く感じてしまう方もいらっしゃると思うので、配慮は必要かもしれませんが、ぜひ、若い方にも経験していただきたいと思います。
- 裁判員に参加して、罪を犯したらどうなるのかということや、裁判が、誰にでも平等に、しっかりと話し合った上で公平に行われていることを、若いうちから知ってほしいと思います。そういう経験が、これから生活していく上での大事な基盤になると思います。

ご参加いただいた皆さま、貴重なご意見・ご感想、大変ありがとうございました。

